

歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和7年9月2日

独立行政法人水資源機構

木曽川中下流用水総合管理所長 津曲 孝一
(公印省略)

1. 目 的

この歩掛参考見積の募集は、濃尾第二施設改築事業で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和7・8年度一般競争(指名競争)参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 当機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」(平成6年5月31日付け6経契第443号)に基づき、木曽川水系及び豊川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、調査項目毎に必要な技術者の人員数を記載し、提出してください。
なお、歩掛参考見積書の様式は別紙ー1、2を参照してください。
- (2) 見積有効期限は「令和8年3月31日まで」としてください。
なお、これにより難しい場合は、任意の期限とし、理由を明記してください。
- (3) 参考見積書の宛名は「独立行政法人水資源機構 木曽川中下流用水総合管理所長 宛」としてください。
- (4) 提出期間：令和7年9月2日(火)から令和7年9月24日(水)17時00分まで

で

※ 持参する場合は、上記期間の土日・祝日(振替休日含む)を除く、平日9時00分から17時00分まで

(5) 提出先：独立行政法人水資源機構 木曽川中下流用水総合管理所長

津曲 孝一 宛

【担当】工務課 和田、辻

〒495-0036 愛知県稲沢市祖父江町馬飼寺東26-1

TEL：0587-97-3710 FAX：0587-97-1482

e-mail：jwa_kisogawa@water.go.jp

(6) 提出方法：持参、郵送、FAX又は電子メール（社印があること）により提出してください。

注：電子メールの場合の添付ファイルは画像形式のPDF又は画像ファイル形式等で提出してください。

なお、メールの表題に【参考見積書】の記載をお願いします。

4. 参考見積内容

(1) 業務内容

別紙-3のとおりとします。

(2) 業務費の構成と歩掛見積範囲

① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料(調査等編)」(以下「基準書」という。)によるものとします。

② 歩掛参考見積の募集範囲は、基準書で定義されている直接人件費のうち、別紙-3の業務内容を実施するために必要な技術者の人数を募集します。

③ 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和7年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

5. 依頼書に対する質問

参考見積依頼書及び見積内容に対する質問がある場合は、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

(1) 提出期間：令和7年9月2日（火）から令和7年9月17日（水）17時00分まで

※ 持参する場合は、上記期間の土日・祝日（振替休日含む）を除く、平日9時00分から17時00分まで

(2) 提出先：3.(5)に同じ。

(3) 提出方法：3.(6)に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答は、令和7年9月18日(木)までに書面により回答します。

7. 参考見積書の作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. ヒアリングの実施について

提出していただいた参考見積書について、ヒアリングを実施することがあります。

9. その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

－ 以 上 －

(別紙－１)
見積様式（参考）

下表の項目について歩掛りの見積を提出願います。

項目	職種	数量	単位	直接人件費（人）							備考
				主任 技術者	理事・ 技師長	主任 技師	技師A	技師B	技師C	技術員	
(1) 現地調査		1	式								
(2) 資料の検討		1	式								
(3) 設計計画		1	式								
(4) 構造計算		1	式								
(5) 構造図作成		1	式								
(6) 付帯構造物		1	式								
(7) 付帯施設構造図作成		1	式								
(8) 平面図及び平面縦断図作成		1	式								
(9) 土工図作成		1	式								
(10) 数量計算		1	式								
(11) 施工計画		1	式								
(12) 総合検討		1	式								
(13) 照査		1	式								
(14) 点検とりまとめ		1	式								
合 計											

別紙１に係る補足事項

歩掛かりの見積もりには、５機場の設計に必要なとなる人数を記入してください。（少数第１位まで）

なお、稲山揚水機場については、吸水槽嵩上げの必要性の確認ならびに場内配管更新、場内付帯施設（フェンス・舗装・擁壁等）工事に必要な工法検討、図面及び数量計算書の作成等を行う。

(別紙－２)
見積様式（参考）

下表の項目について歩掛りの見積を提出願います。

項目	職種	数量	単位	直接人件費（人）							備考
				主任 技術者	理事・ 技師長	主任 技師	技師A	技師B	技師C	技術員	
（１） 現地調査		1	式								
（２） 資料の検討		1	式								
（３） 設計計画		1	式								
（４） 構造計算		1	式								
（５） 構造図作成		1	式								
（６） 付帯構造物		1	式								
（７） 付帯施設構造図作成		1	式								
（８） 平面図及び平面縦断図作成		1	式								
（９） 土工図作成		1	式								
(10) 数量計算		1	式								
(11) 施工計画		1	式								
(12) 総合検討		1	式								
(13) 照査		1	式								
(14) 点検とりまとめ		1	式								
合 計											

別紙２に係る補足事項

歩掛かりの見積もりには、５機場の設計に必要な人数を記入してください。（少数第１位まで）

なお、稲山揚水機場については、吸水槽嵩上げの必要性の確認ならびに吸水槽の嵩上げ、
場内配管更新及び場内付帯施設（フェンス・舗装・擁壁等）工事に必要な工法検討、図面及び数量計算書の作成等を行う。

(別紙－３)

1. 業務目的

本業務は、木曽川用水濃尾第二施設改築事業における各揚水機場（葛木揚水機場、立田第２揚水機場、早尾揚水機場、神場揚水機場）の吸水槽の嵩上げ、場内配管更新および場内付帯施設（フェンス・舗装・擁壁等）工事に必要な工法検討及び図面、数量計算書の作成等を行うものである。

また、稲山揚水機場の吸水槽嵩上げの必要性の確認ならびに吸水槽の嵩上げ（吸水槽嵩上げが必要な場合）、場内配管更新および場内付帯施設（フェンス・舗装・擁壁等）工事に必要な工法検討、図面及び数量計算書の作成等を行うものである。

2. 対象施設

葛木揚水機場、立田第２揚水機場、早尾揚水機場、稲山揚水機場、神場揚水機場

3. 業務数量

(1) 現地調査	1 式
(2) 資料の検討	1 式
(3) 設計計画	1 式
(4) 構造計算	1 式
(5) 構造図作成	1 式
(6) 付帯構造物	1 式
(7) 付帯施設構造図作成	1 式
(8) 平面図及び平面縦断図作成	1 式
(9) 土工図作成	1 式
(10) 数量計算	1 式
(11) 施工計画	1 式
(12) 総合検討	1 式
(13) 照査	1 式
(14) 点検とりまとめ	1 式

4. 業務内容

(1) 現地調査

実施設計に必要な調査を行う。

(2) 資料の検討

実施設計のための資料収集及び貸与資料の内容を把握する。

【全体】

- ・施設管理図

【葛木揚水機場】

- ・令和4年度濃尾第二改築早尾揚水機場外吸水槽改修実施設計等業務報告書
- ・令和4年度濃尾第二改築葛木分線施設規模検討等業務報告書
- ・令和5年度濃尾第二改築葛木分線実施設計等業務報告書
- ・濃尾第二改築早尾揚水機場外更新実施設計業務報告書
- ・濃尾第二改築末広揚水機場外更新実施設計業務報告書（R7.8.29完了予定）

【立田第2揚水機場】

- ・令和4年度濃尾第二改築早尾揚水機場外吸水槽改修実施設計等業務報告書
- ・立田第2分線測量・設計業務（県営）報告書
- ・濃尾第二改築早尾揚水機場外更新実施設計業務報告書
- ・濃尾第二改築末広揚水機場外更新実施設計業務報告書（R7.8.29完了予定）

【早尾揚水機場】

- ・令和4年度濃尾第二改築早尾揚水機場外吸水槽改修実施設計等業務報告書
- ・令和4年度濃尾第二改築早尾支線実施設計等業務報告書
- ・令和5年度濃尾第二改築葛木分線実施設計等業務報告書
- ・濃尾第二改築早尾揚水機場ポンプ設備改修工事成果品
- ・濃尾第二改築早尾揚水機場外更新実施設計業務報告書
- ・濃尾第二改築早尾揚水機場建屋外改築工事完成図書

【稲山揚水機場】

- ・令和元年度濃尾第二施設支線水路等機能診断調査業務報告書
- ・令和2年度濃尾第二施設事業計画（案）作成業務報告書
- ・令和5年度幹線水路沈下測量業務報告書
- ・令和5年度濃尾第二改築鍋田支線施設規模検討等業務報告書
- ・濃尾第二改築末広揚水機場外更新実施設計業務報告書（R7.8.29完了予定）

【神場揚水機場】

- ・令和4年度濃尾第二改築早尾揚水機場外吸水槽改修実施設計等業務報告書
- ・令和5年度濃尾第二改築神場揚水機場外更新実施設計業務報告書

（3）設計計画

貸与資料等を基に下記の検討を行う。

【葛木揚水機場、立田第2揚水機場、早尾揚水機場、神場揚水機場】

- ①吸水槽の嵩上げ工事の工法検討等
- ②場内配管更新
- ③場内付帯施設（フェンス・舗装・擁壁等）工事

【稲山揚水機場】

①吸水槽嵩上げの必要性の確認ならびに

吸水槽の嵩上げ工事の工法検討等（吸水槽嵩上げが必要な場合）

②場内配管更新

③場内付帯施設（フェンス・舗装・擁壁等）工事

（４）構造計算

各実施断面について、内外圧に対する詳細構造計算を行うものとする。

なお、計算条件は、その区間を測点で区分し、その内外圧等の条件を整理するものとする。

また、吸水槽の側壁を嵩上げする場合には、側壁自重の増により底版反力の増加が想定され、側壁中央内側でモーメントが増加することで、底版内側への補強が必要となる可能性がある。嵩上げ実施にあたり、構造検証により構造体の安全性を確認する。

（５）構造図作成

場内配管、吸水槽、場内付帯施設の構造詳細図等を作成するものとする。

（６）付帯構造物

各構造物（制水弁（電動）等）の詳細構造計算をして決定するものとする。

（７）付帯施設構造図作成

構造一般図、構造詳細図、配筋図、鉄筋加工図を作成するものとする。

（８）平面図及び平面縦断図作成

詳細な揚水機場の平面図及び場内配管の平面縦断図、管割図を作成するものとする。

（９）土工図作成

施工法区分毎、土工数量等を記入するものとする。

（１０）数量計算

土工、コンクリート、鉄筋、型枠、管、付帯工、仮設工材料等の詳細数量計算を行うものとする。

（１１）施工計画

工程計画、施工順序、施工方法や主要施設の施工計画、各種仮設計画等の詳細計画を作成するものとする。

(12) 総合検討

上記作業について総合的に検討を行うものとする。

(13) 照査

照査を行う。

(13) 点検とりまとめ

作成した成果のとりまとめを行うものとする。

なお、本業務の成果と令和4年度濃尾第二改築早尾揚水機場外吸水槽改修実施設計等業務成果（吸水槽の改修工法）を一つにまとめること。

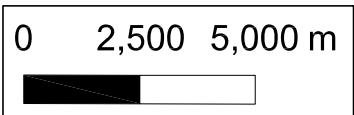
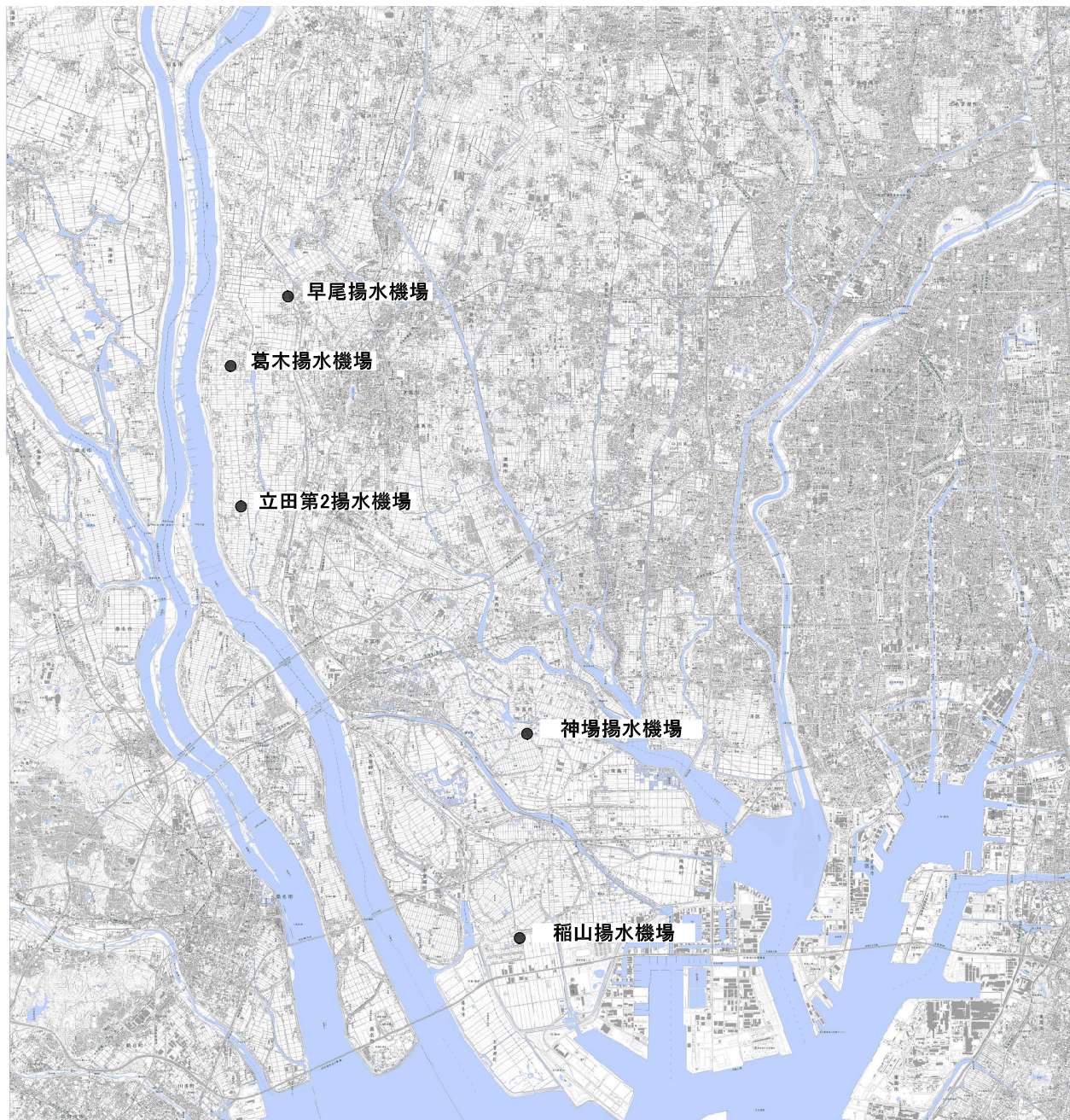
【参考】

機場ごとの吸水槽嵩上げの必要性の確認及び吸水槽嵩上げ工事について

	吸水槽嵩上げの必要性の確認	吸水槽嵩上げ工事
葛木揚水機場	済	業務対象
立田第2揚水機場	済	業務対象
早尾揚水機場	済	業務対象
稲山揚水機場	業務対象	必要な場合、業務対象
神場揚水機場	済	業務対象

施設位置図

S=1 : 60000



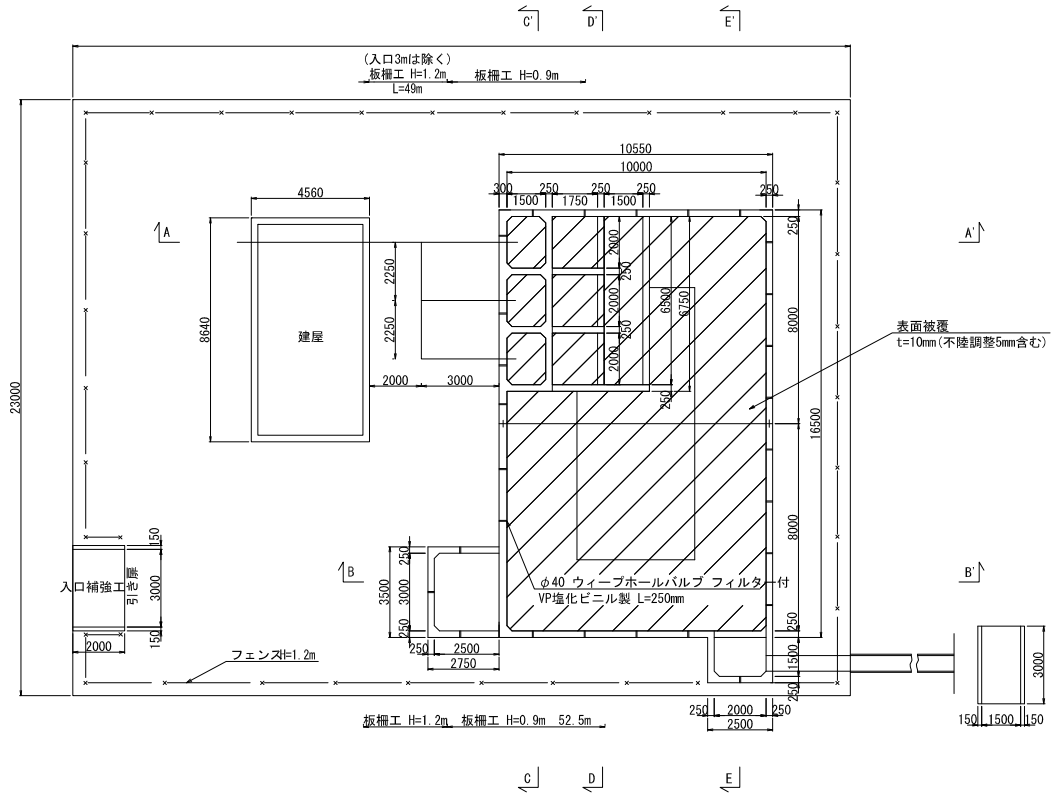
工事名 瀬尾第二改築 早尾揚水機場外 吸水槽改修 実施設計業務	
名 称 早尾揚水機場外 施設位置図	
登録番号	整理番号 0-0
独立行政法人 水資源機構 本管川中下流用水総合管理所	

幹線西支線葛木分線水路葛木揚水機場平面図

S=1：100

注 意 事 項

1. 適用
この図面は、濃尾第二施設葛木揚水機場平面図に適用する。
2. 単位
測点、標高は、m単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
3. 表面被覆
表面被覆は、無機系材料による被覆を想定しているが、使用する材料について監督員の承認を得るものとする。
4. 不陸調整厚
不陸調整厚は、既設壁面の摩耗深さを5mm程度と想定しているが、事前に壁面摩耗深さを測定し、不陸調整厚について監督員と協議すること。
5. 摩耗以外の劣化変状
劣化変状は壁面摩耗のみと想定しているが、事前調査でその他の劣化変状が確認された場合は、劣化変状の状況及び規模を計測し、劣化に対する対策工を監督員と協議すること。
6. あと施工ウィーブホール
あと施工ウィーブホールは、2m間隔で設置するものとし、既設ウィーブホールとは別の位置とする。
設置高さは、側壁高さの1/2の位置とする。



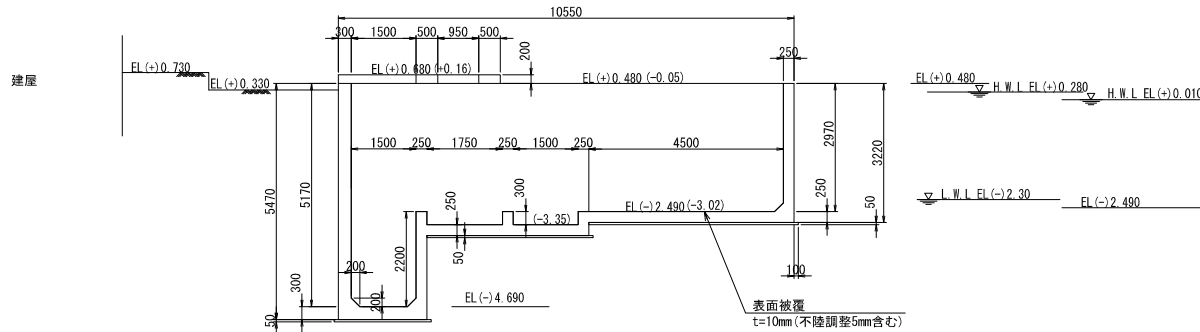
補修数量表

名 称	材 料	単 位	数 量	備 考
<葛木揚水機場>				
表面被覆工				
高圧洗浄	150MPa	m2	424.8	
表面被覆工	無機系ポリマーセメントモルタル	m2	424.8	
防錆処理工		m2	-	
目地補修工				
目地成型ゴム挿入工	EPDMゴム	m	39.2	
ウィーブホール補修工				
削孔	φ80	箇所	27	
ウィーブホール	ゴム輪取付式（浮子式）	箇所	27	

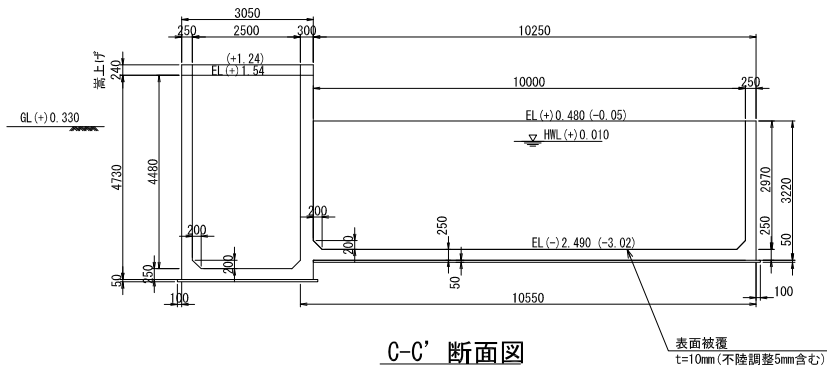
工事名 濃尾第二改築 早尾揚水機場外 吸水槽改修 実施設計業務	
名 称 幹線西支線葛木分線水路葛木揚水機場平面図	
登録番号	整理番号 1-1
独立行政法人 水資源機構 木曽川中下流用水総合管理所	

S=1 : 60

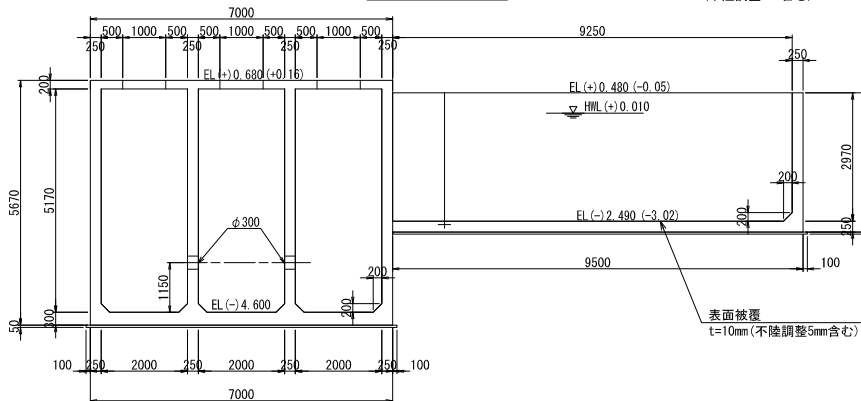
A-A'断面図



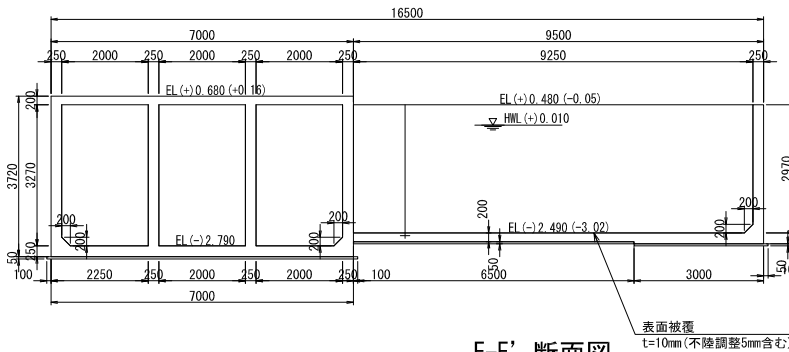
B-B' 断面图



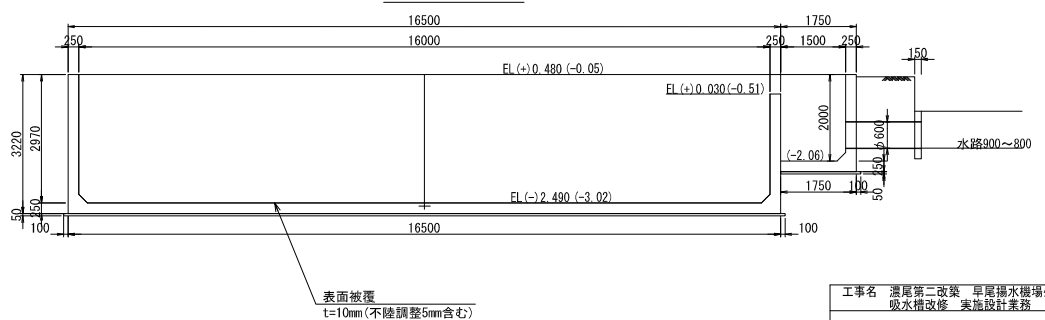
C-C' 断面图



D-D' 断面图



E-E' 断面図



注 意 事 項

2. 適用
この図面は、濃尾第二施設葛木揚水機場断面図に適用する。
2. 単位
測点、標高は、m単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
3. 構造物標高
構造物標高のEL (土) ○ ○ で示す数値は一期図面の標高を示す。
構造物標高の (土) ○ ○ ○ で示す数値は令和4年度測量実測値を示す。
4. 表面被覆
表面被覆は、無機系材料による被覆を想定しているが、使用する材料について監督員の承諾を得るものとする。
5. 不陸調整厚
不陸調整厚は、既設壁面の摩耗深さを5mm程度と想定しているが、事前に壁面摩耗深さを測定し、不陸調整厚とについて監督員と協議すること。
6. 摩耗以外の劣化変状
劣化変状は劣化摩耗のみと想定しているが、事前調査でその他の劣化変状が確認された場合は、劣化変状の状態及び規模を計測し、劣化に対する対策を監督員と協議すること。
7. あと施工ウィーブホール
あと施工ウィーブホールは、2m間隔で設置するものとし、既設ウィーブホールとは別の位置とする。設置高さは、側壁高さの1/2の位置とする。

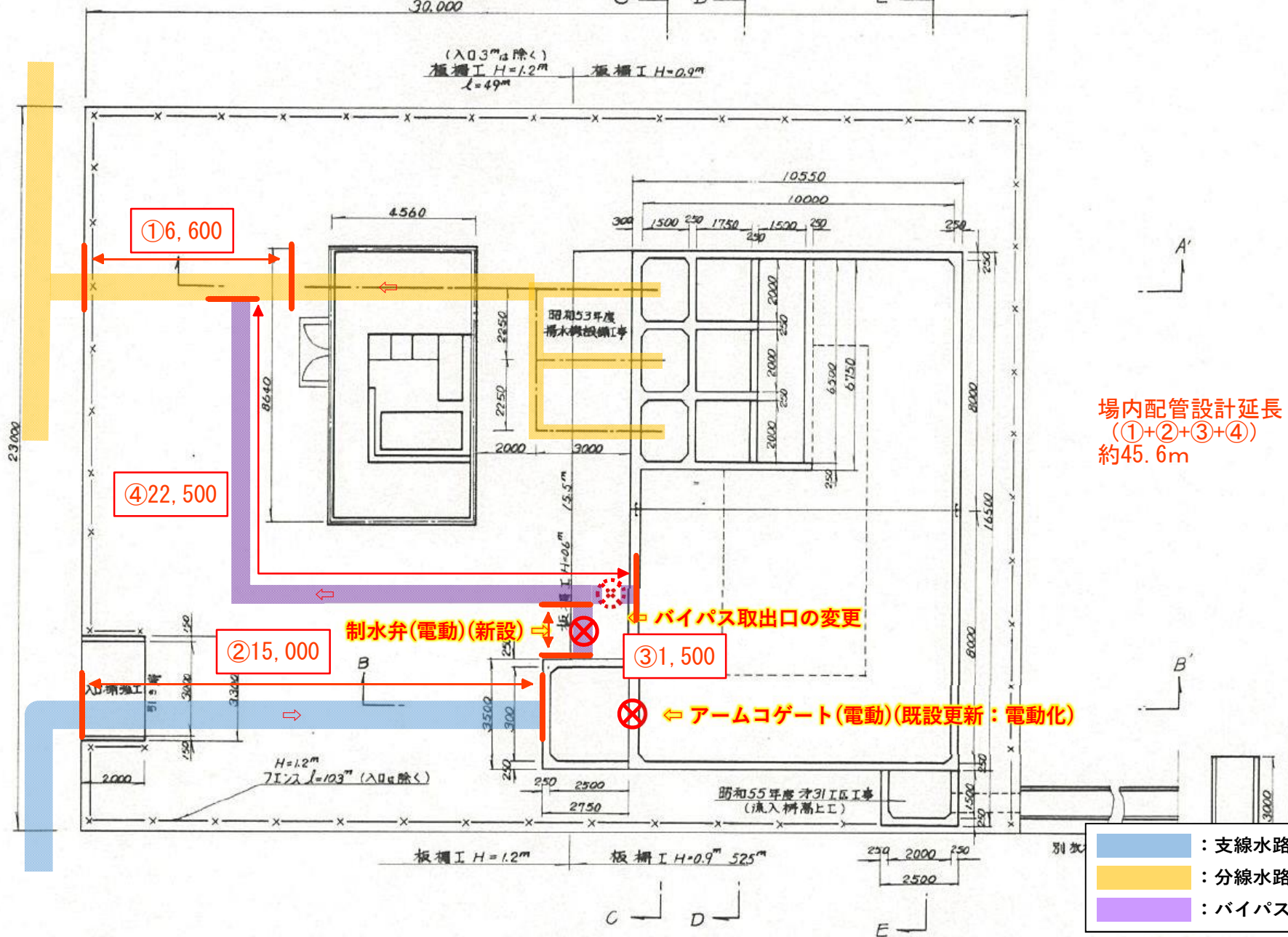
工 事 名		濃尾第二改築 早尾揚水機場外 吸水槽改修 実施設計業務
名 称		幹線西支線葛木分線水路葛木揚水機場断面図
登録番号	整理番号	1-2
独立行政法人 水資源機構 木曽川中下流用水総合管理所		

葛木揚水機場

平面図

昭和52年度才24工区工事
昭和56年度第2工区工事
30,000

(入0.3mを除く)
板橋工 H=1.2m
L=49m
板橋工 H=0.9m



場内配管設計延長
(①+②+③+④)
約45.6m

制水弁(電動)(新設)

パイパス取出口の変更

アームコゲート(電動)(既設更新:電動化)

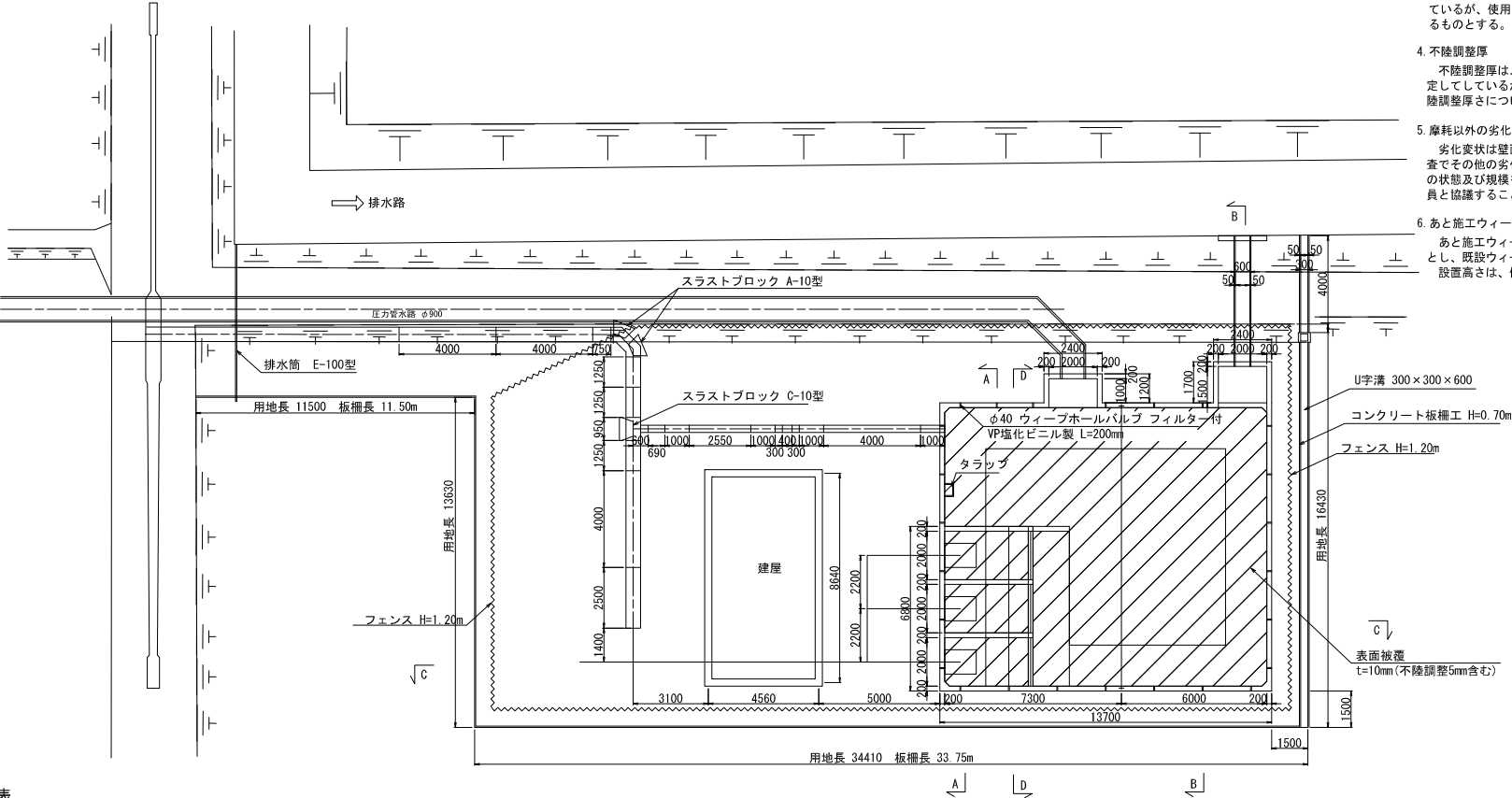
- 支線水路
- 分線水路
- バイパス水路

幹線西支線立田第2分線水路立田第2揚水機場平面図

S=1 : 100

注 意 事 項

- 適用
この図面は、濃尾第二施設立田第2揚水機場平面図に適用する。
- 単位
測点、標高は、m単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
- 表面被覆
表面被覆は、無機系材料による被覆を想定しているが、使用する材料について監督員の承諾を得るものとする。
- 不陸調整厚
不陸調整厚は、既設壁面の摩耗深さを5mm程度と想定しているが、事前に壁面摩耗深さを測定し、不陸調整厚について監督員と協議すること。
- 摩耗以外の劣化変状
劣化変状は壁面摩耗のみと想定しているが、事前調査でその他の劣化変状が確認された場合は、劣化変状の狀態及び規模を計測し、劣化に対する対策工を監督員と協議すること。
- あと施工ウィーブホール
あと施工ウィーブホールは、2m間隔で設置するものとし、既設ウィーブホールとは別の位置とする。
設置高さは、側壁高さの1/2の位置とする。



補修数量表

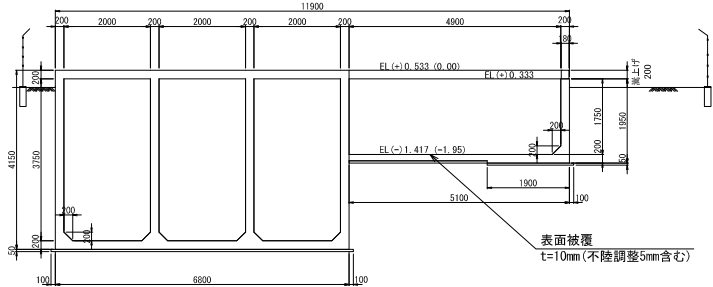
名 称	材 料	単 位	数 量	備 考
<立田第2揚水機場>				
表面被覆工				
高圧洗浄	150MPa	m2	1093	
表面被覆工	無機系ポリマーセメントモルタル	m2	1093	
防錆処理工		m2	-	
目地補修工				
目地成型ゴム挿入工	EPDMゴム	m	51	
ウィーブホール補修工				
削孔	φ80	箇所	25	
ウィーブホール	ゴム輪取付式 (浮子式)	箇所	25	

工事名 濃尾第二改築 早尾揚水機場外 吸水槽改修 実施設計業務	
名 称 幹線西支線立田第2分線水路立田第2揚水機場 平面図	
登録番号	整理番号 2-1
独立行政法人 水資源機構 木曽川中下流用水総合管理所	

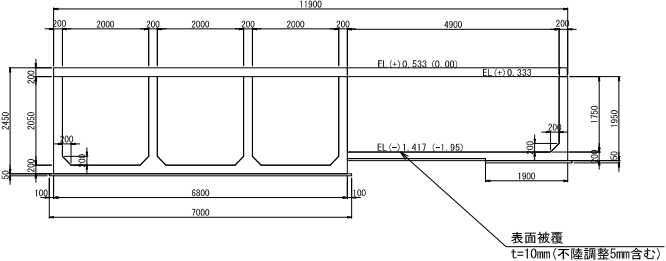
幹線西支線立田第2分線水路立田第2揚水機場断面図

S=1:60

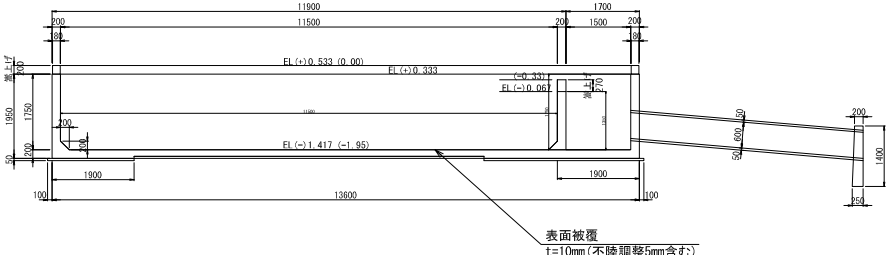
A-A断面図



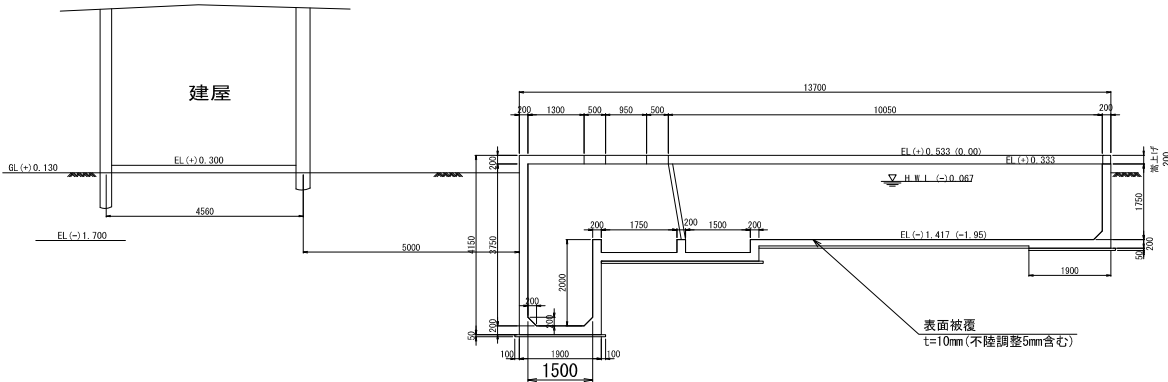
D-D断面図



B-B断面図



C-C断面図

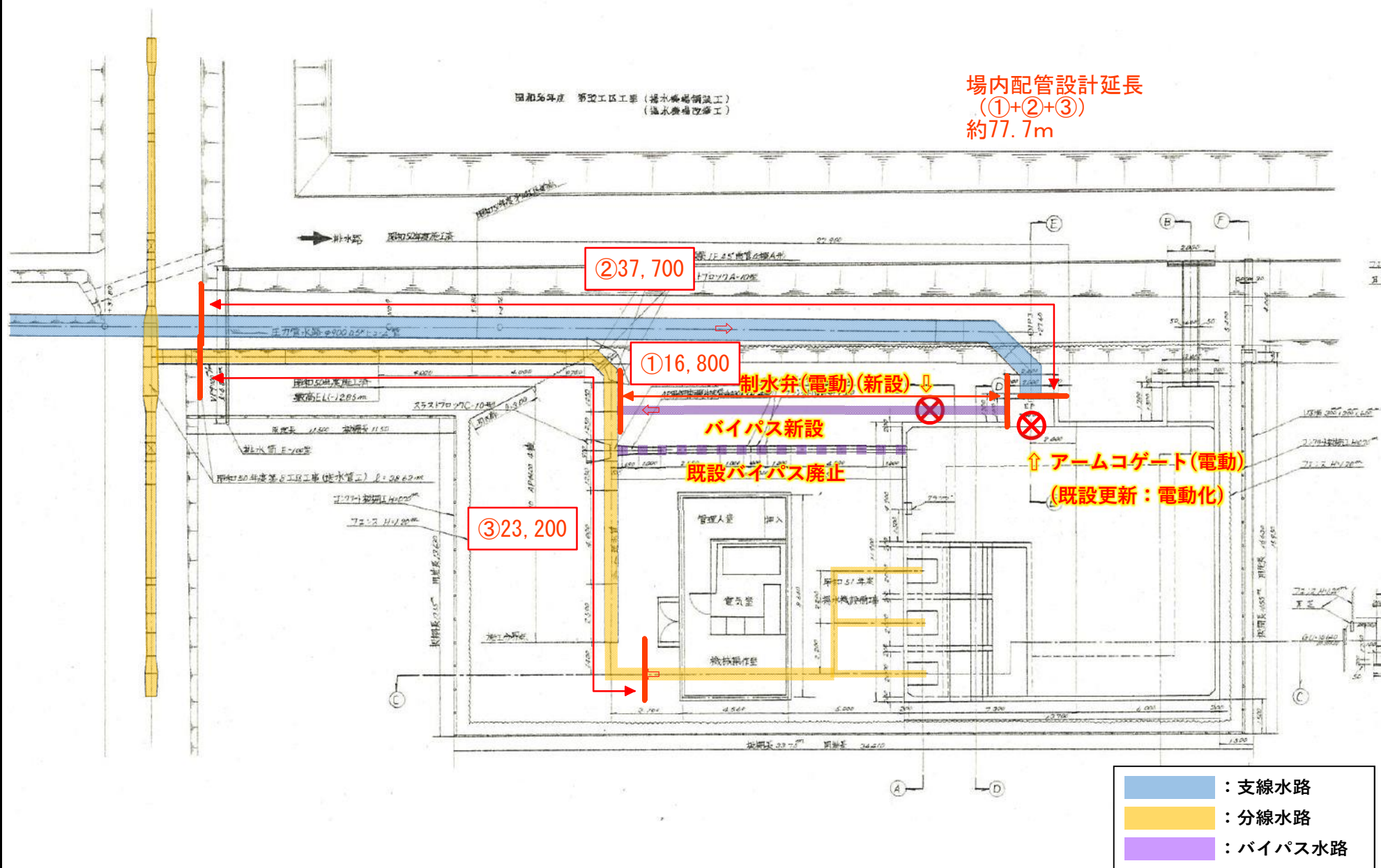


注 意 事 項

- 適用
この図面は、濃尾第二施設立田第2揚水機場断面図に適用する。
- 単位
測点、標高は、m単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
- 構造物標高
構造物標高のEL(±)〇.〇〇で示す数値は一期図面の標高を示す。
構造物標高の(±〇.〇〇)で示す数値は令和4年度測量実測値を示す。
- 表面被覆
表面被覆は、無機系材料による被覆を想定しているが、使用する材料について監督員の承諾を得るものとする。
- 不陸調整厚
不陸調整厚は、既設壁面の摩耗深さを5mm程度と想定しているが、事前に壁面摩耗深さを測定し、不陸調整厚さについて監督員と協議すること。
- 摩耗以外の劣化変状
劣化変状は壁面摩耗のみと想定しているが、事前調査でその他の劣化変状が確認された場合は、劣化変状の状態及び規模を計測し、劣化に対する対策工を監督員と協議すること。
- あと施工ウィーブホール
あと施工ウィーブホールは、2m間隔で設置するものとし、既設ウィーブホールとは別の位置とする。
設置高さは、側壁高さの1/2の位置とする。

工事名	濃尾第二改築 早尾揚水機場外 吸水槽改修 実施設計業務		
名 称	幹線西支線立田第2分線水路立田第2揚水機場 平面図		
登録番号		整理番号	2-2
独立行政法人 水資源機構 木曽川中下流用水総合管理所			

立田第2揚水機場

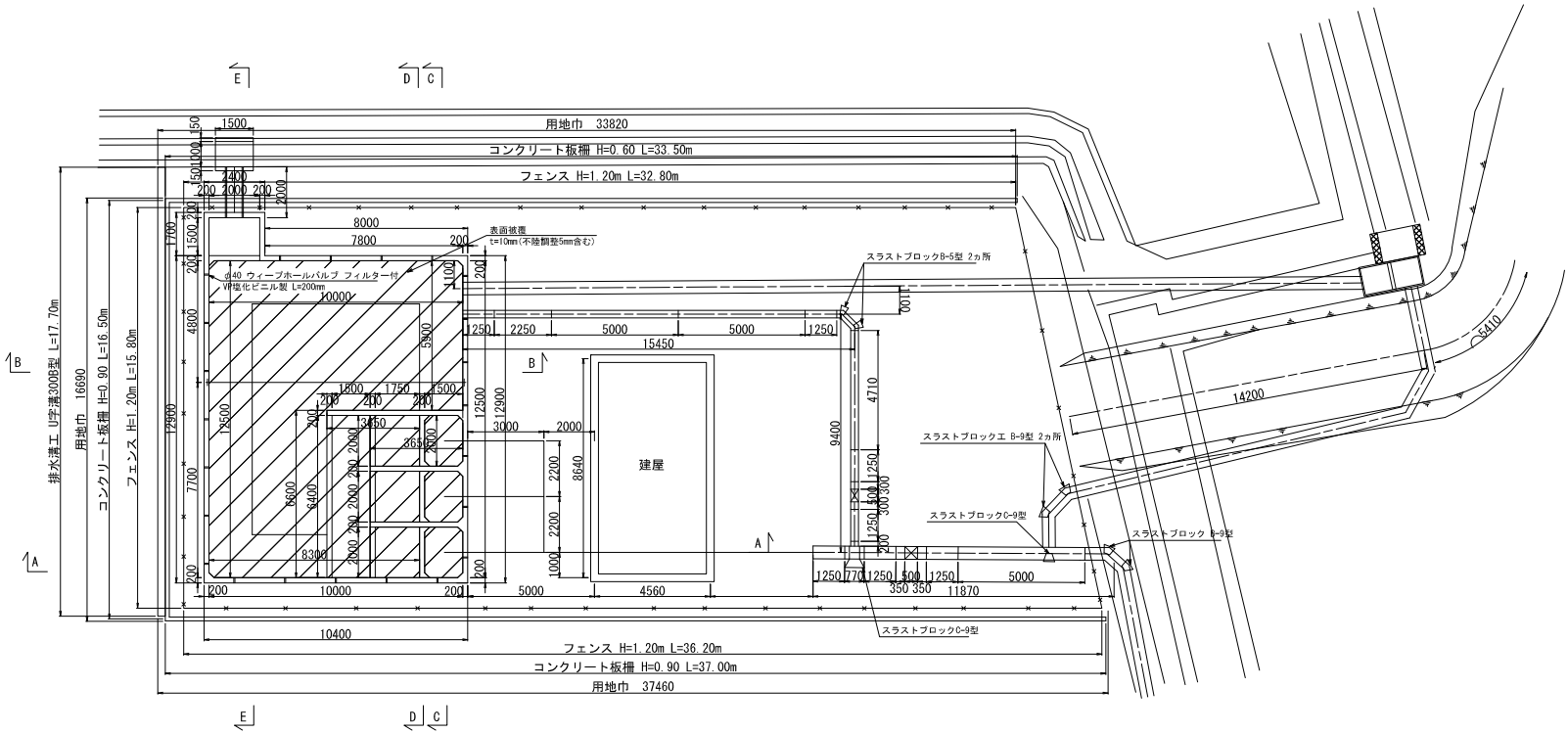


早尾支線水路早尾揚水機場平面図

S=1:100

注 意 事 項

1. 適用
この図面は、濃尾第二施設早尾揚水機場平面図に適用する。
2. 単位
測点、標高は、m単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
3. 表面被覆
表面被覆は、無機系材料による被覆を想定しているが、使用する材料について監督員の承諾を得るものとする。
4. 不陸調整厚
不陸調整厚は、既設壁面の摩耗深さを5mm程度と想定しているが、事前に壁面摩耗深さを測定し、不陸調整厚さについて監督員と協議すること。
5. 摩耗以外の劣化変状
劣化変状は壁面摩耗のみと想定しているが、事前調査でその他の劣化変状が確認された場合は、劣化変状の状況及び規模を計測し、劣化に対する対策工を監督員と協議すること。
6. あと施工ウィーブホール
あと施工ウィーブホールは、2m間隔で設置するものとし、既設ウィーブホールとは別の位置とする。
設置高さは、側壁高さの1/2の位置とする。



補修数量表

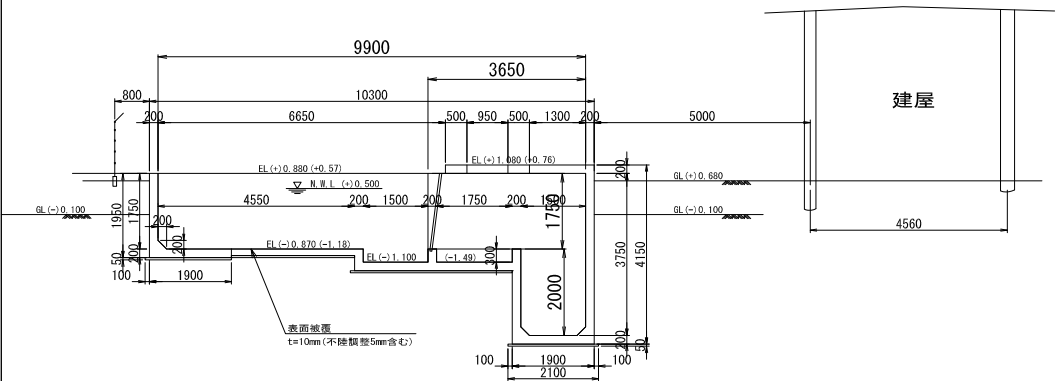
名 称	材 料	単 位	数 量	備 考
<早尾揚水機場>				
表面被覆工				
高圧洗浄	150MPa	m2	287	
表面被覆工	無機系ポリマーセメントモルタル	m2	287	
防錆処理工		m2	-	
目地補修工				
目地成型ゴム挿入工	EPDMゴム	m	43	
ウィーブホール補修工				
削孔	φ80	箇所	23	
ウィーブホール	ゴム輪取付式（浮子式）	箇所	23	

工事名 濃尾第二改築 早尾揚水機場外 吸水槽改修 実施設計業務	
名 称 早尾支線水路早尾揚水機場平面図	
登録番号	整理番号 3-1
独立行政法人 水資源機構 木曽川中下流用水総合管理所	

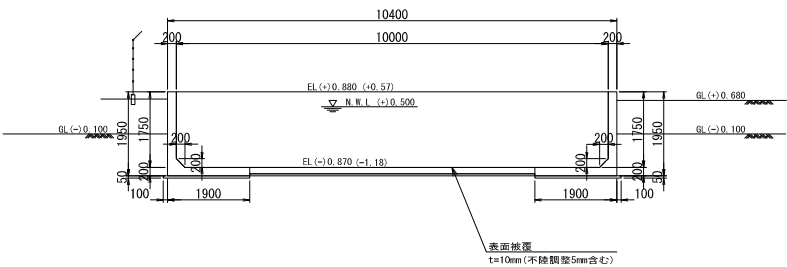
早尾支線水路早尾揚水機場断面図

S=1 : 60

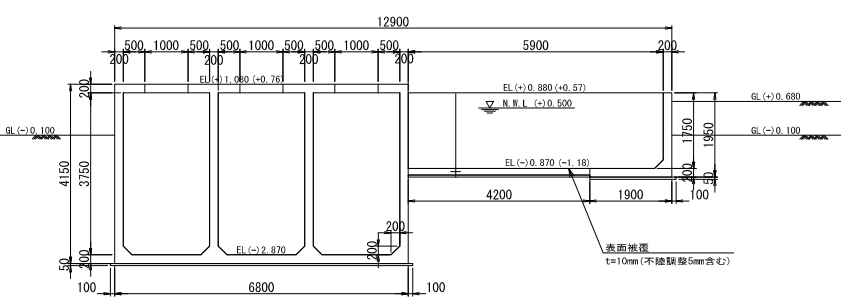
A-A断面図



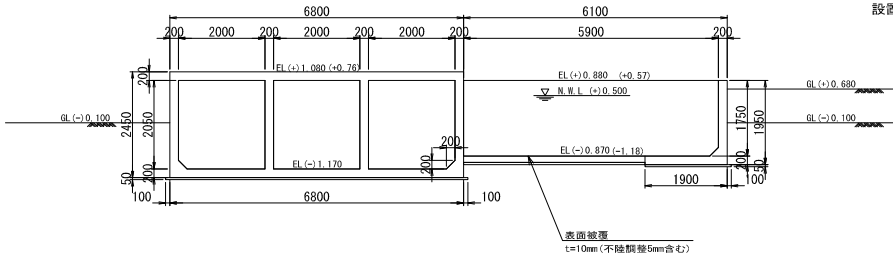
B-B断面図



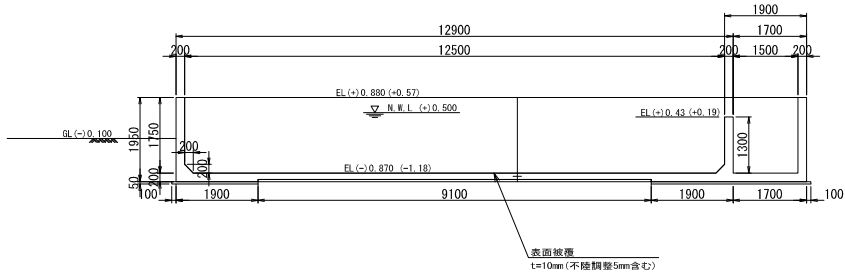
C-C断面図



D-D断面図



E-E断面図



注 意 事 項

- 適用
この図面は、濃尾第二施設早尾揚水機場断面図に適用する。
- 単位
測点、標高は、m単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
- 構造物標高
構造物標高のEL(±)○.○.○で示す数値は一期図面の標高を示す。
構造物標高の(±○.○.○)で示す数値は令和4年度測量実測値を示す。
- 表面被覆
表面被覆は、無機系材料による被覆を想定しているが、使用する材料について監督員の承諾を得るものとする。
- 不陸調整厚
不陸調整厚は、既設壁面の摩耗深さを5mm程度と想定しているが、事前に壁面摩耗深さを測定し、不陸調整厚について監督員と協議すること。
- 摩耗以外の劣化変状
劣化変状は壁面摩耗のみと想定しているが、事前調査でその他の劣化変状が確認された場合は、劣化変状の状態及び規模を計測し、劣化に対する対策工を監督員と協議すること。
- あと施工ウィーブホール
あと施工ウィーブホールは、2m間隔で設置するものとし、既設ウィーブホールとは別の位置とする。
設置高さは、側壁高さの1/2の位置とする。

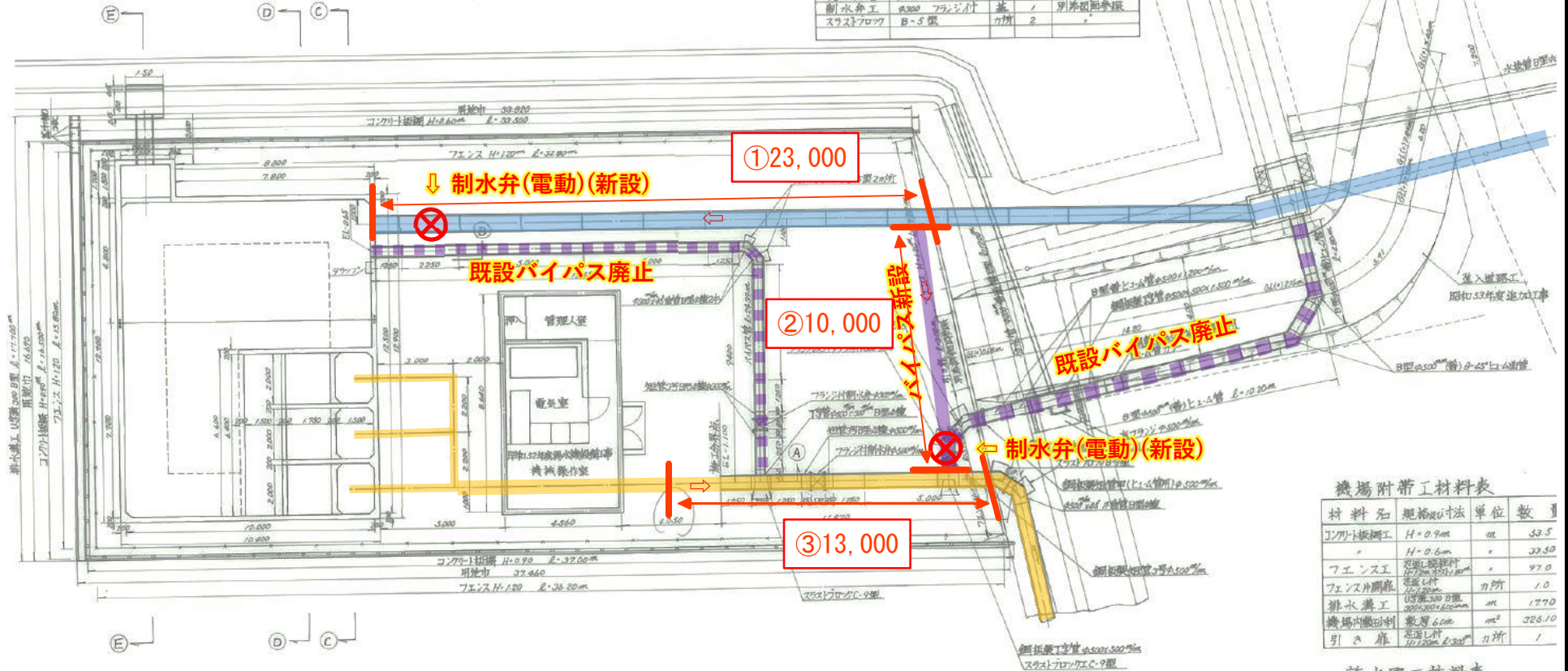
工事名 濃尾第二改築 早尾揚水機場外 吸水槽改修 実施設計業務	
名 称 早尾支線水路早尾揚水機場断面図	
登録番号	整理番号 3-2
独立行政法人 水資源機構 木曽川中下流用水総合管理所	

早尾揚水機場

計画平面図 S=1/100

昭和51年度 第1工区工事
昭和56年度 第4工区工事 (機場管渠工)

バイパス管材料表 L=24.39m				
材料名	規格	単位	数量	備考
石積板工	φ300×5,000 4種	本	3	95年度工事施工
"	φ300×2,250 "	"	1	"
"	φ300×1,250 "	"	6	"
鋼鉄継手	φ300	個	6	"
カラー継手	φ300	個	5	"
短管寸可	φ300 日型	本	2	"
45°曲管	φ300	本	2	"
制水弁工	φ300 フランジ付	基	1	別添図面参照
スラストアロワ	B-5 型	カ所	2	"



機場附帯工材料表				
材料名	規格	単位	数量	備考
コンクリート板工	H=0.9m	m	33.5	
"	H=0.6m	"	33.5	
フェンス工	φ300×5,000 4種	m	97.0	
フェンスH調整	φ300×5,000 4種	m	1.0	
排水溝工	φ300×5,000 4種	m	17.0	
機場内敷砂利	敷厚6.0cm	m ²	326.10	
引き扉	H=1.20m φ300	カ所	1	

放水工材料表

支線水路	支線水路
分線水路	分線水路
バイパス水路	バイパス水路

場内配管設計延長
(①+②+③)
約46.0m

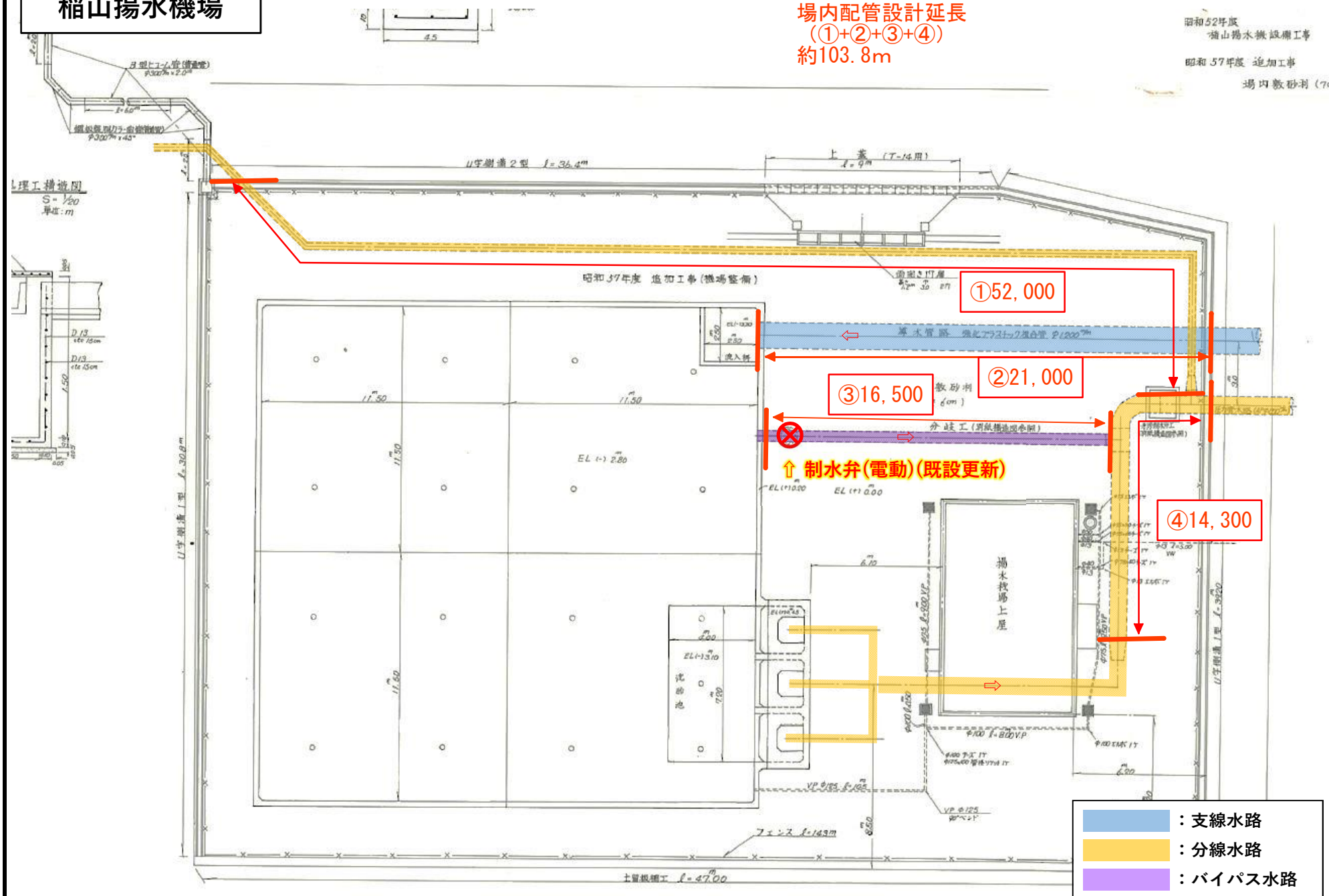
稲山揚水機場

場内配管設計延長
(①+②+③+④)
約103.8m

昭和52年度
福山揚水機設備工事

昭和57年度 追加工事

場内敷砂利 (7c)



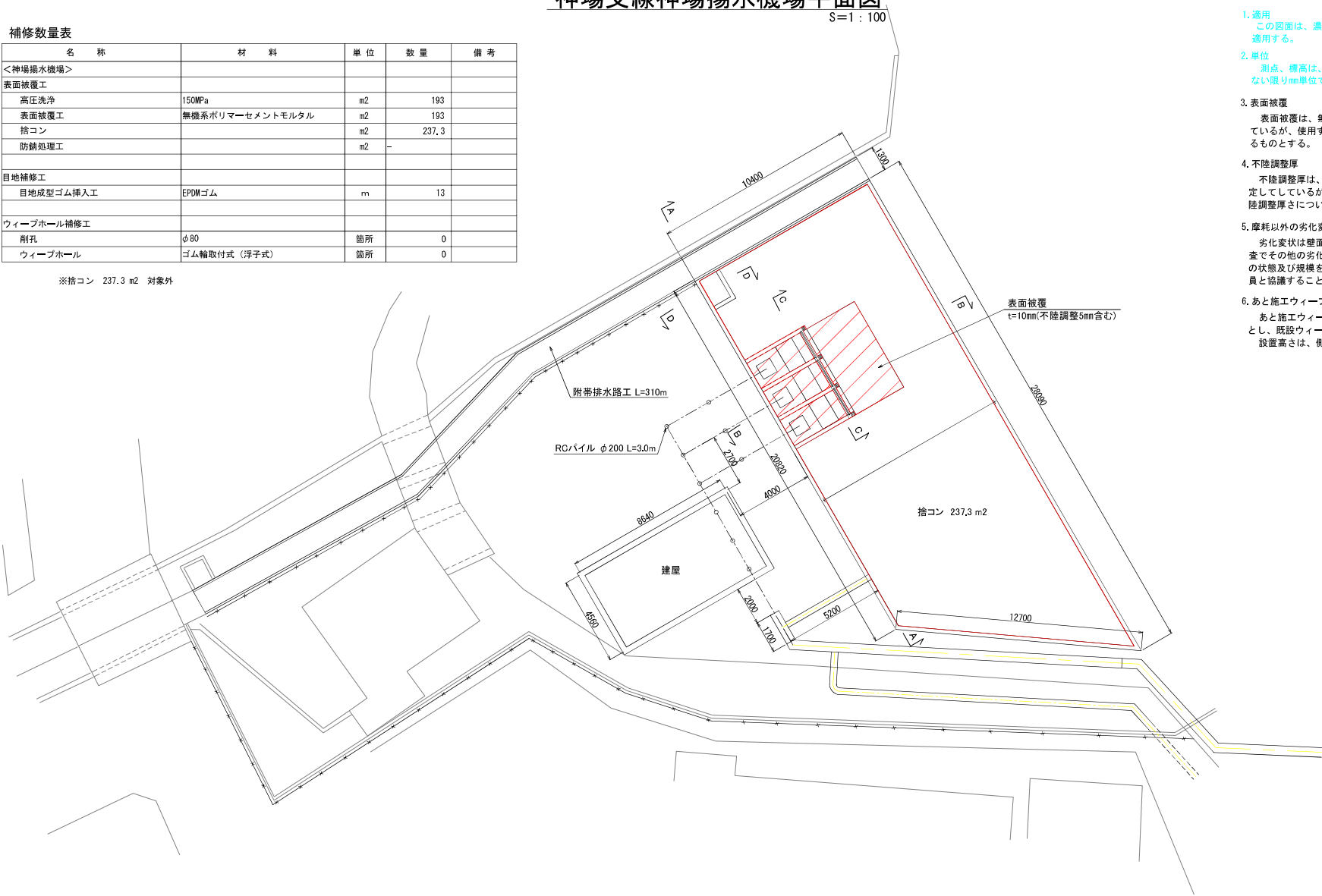
神場支線神場揚水機場平面図

S=1 : 100

補修数量表

名 称	材 料	単 位	数 量	備 考
<神場揚水機場>				
表面被覆工				
高圧洗浄	150MPa	m2	193	
表面被覆工	無機系ポリマーセメントモルタル	m2	193	
捨コン		m2	237.3	
防錆処理工		m2	-	
目地補修工				
目地成型ゴム挿入工	EPDMゴム	m	13	
ウィーブホール補修工				
耐孔	φ80	箇所	0	
ウィーブホール	ゴム輪取付式（浮子式）	箇所	0	

※捨コン 237.3 m2 対象外



注 意 事 項

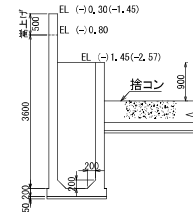
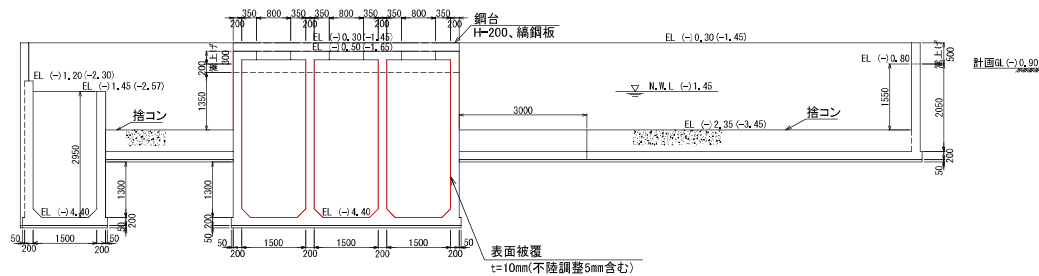
- 適用
この図面は、濃尾第二施設神場揚水機場平面図に適用する。
- 単位
測点、標高は、m単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
- 表面被覆
表面被覆は、無機系材料による被覆を想定してしているが、使用する材料について監督員の承諾を得るものとする。
- 不陸調整厚
不陸調整厚は、既設壁面の摩耗深さを5mm程度と想定してしているが、事前に壁面摩耗深さを測定し、不陸調整厚さについて監督員と協議すること。
- 摩耗以外の劣化変状
劣化変状は壁面摩耗のみと想定しているが、事前調査でその他の劣化変状が確認された場合は、劣化変状の状態及び規模を計測し、劣化に対する対策工を監督員と協議すること。
- あと施工ウィーブホール
あと施工ウィーブホールは、2m間隔で設置するものとし、既設ウィーブホールとは別の位置とする。
設置高さは、側壁高さの1/2の位置とする。

工事名 濃尾第二改築 早尾揚水機場外 吸水槽改修 実施設計業務	
名 称 神戸支線神場揚水機場平面図	
登録番号	整理番号 4-1
独立行政法人 水資源機構 木曽川用水総合管理所	

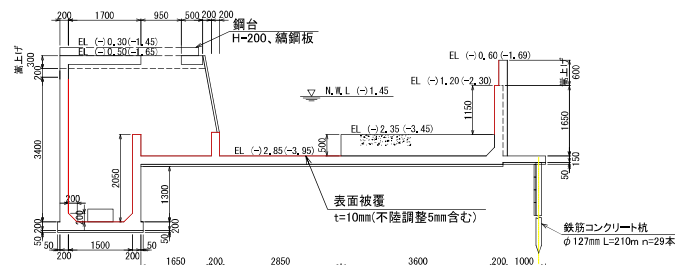
神戸支線神場揚水機場断面図

A-A断面図

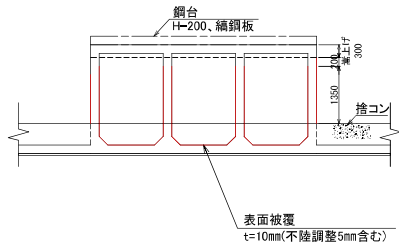
S=1:60
D-D断面図



B-B断面図



C-C断面図



注 意 事 項

- 適用
この図面は、濃尾第二施設神場揚水機場断面図に適用する。
- 単位
測点、標高は、m単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
- 構造物標高
構造物標高のEL(±)○、○○で示す数値は一期図面の標高を示す。
構造物標高の(±○、○○)で示す数値は令和4年度測量実測値を示す。
- 表面被覆
表面被覆は、無機系材料による被覆を想定しているが、使用する材料について監督員の承諾を得るものとする。
- 不陸調整厚
不陸調整厚は、既設壁面の摩耗深さを5mm程度と想定してしているが、事前に壁面摩耗深さを測定し、不陸調整厚さについて監督員と協議すること。
- 摩耗以外の劣化変状
劣化変状は壁面摩耗のみと想定しているが、事前調査でその他の劣化変状が確認された場合は、劣化変状の状態及び規模を計測し、劣化に対する対策工を監督員と協議すること。
- あと施工ウィーブホール
あと施工ウィーブホールは、2m間隔で設置するものとし、既設ウィーブホールとは別の位置とする。
設置高さは、側壁高さの1/2の位置とする。

工事名	濃尾第二改築 早尾揚水機場外 吸水槽改修 実施設計業務		
名 称	神戸支線神場揚水機場断面図		
登録番号	整理番号	4-2	
独立行政法人 水資源機構 木曽川用水総合管理所			

神場揚水機場

場内配管設計延長
(①+②+③+④)
約94.5m

